

デンカハードロックⅡ

ER153-005

1 はじめに

「デンカ ハードロックⅡ ER153-005」は、短時間でのひび割れ注入補修工法に用いられる注入材です。

2 特 徴

①速硬化性・低温硬化性

短時間で硬化するため、時間制限のある施工に適しています。
-10℃でも硬化するため、冬季施工が可能です。

②短時間強度発現性

硬化後短時間で強度発現するため、現場開放までの時間が短縮できます。

③安全性

皮膚刺激性の低い原材料を使用しています。

3 性 状

項 目	ER153-005S		ER153-005F	
	A剤	B剤	A剤	B剤
主成分	変性アクリル樹脂	変性アクリル樹脂	変性アクリル樹脂	変性アクリル樹脂
外観	半透明粘稠液	青色粘稠液	半透明粘稠液	青色粘稠液
混合比	1 : 1		1 : 1	
粘度[mPa·s]	500 (20℃)	500 (20℃)	500 (5℃)	500 (5℃)
液比重	0.98		0.98	
消防法危険物分類	第4類第1石油類	第4類第1石油類	第4類第1石油類	第4類第1石油類

4 荷 姿








- 300ml シリンジセット (マニュアルガン MG-2、スタティックミキサー SM616)
- 1500ml シリンジセット (エアーガン AG-1500、スタティックミキサー SM818)
- 5.0kg セット (A 剤、B 剤各 2.5kg)

5 硬化特性例

項目		ER153-005S	ER153-005F
可使時間 ／ 硬化時間 [分]	35℃	5/ 10	—
	30℃	8/ 15	—
	25℃	15/ 25	—
	20℃	20/ 35	3/ 10
	15℃	35/ 75	5/ 15
	10℃	45/150	10/ 25
	5℃	90/250	25/ 40
	0℃	—	35/ 65
	-5℃	—	45/105
	-10℃	—	85/180

6 樹脂硬化物物性例

項目	ER153-005S	ER153-005F
圧縮強さ [N/mm ²]	80	80
曲げ強さ [N/mm ²]	40	40
引張強さ [N/mm ²]	30	30
硬度 [HDD]	75	75
引張せん断接着強さ [N/mm ²]	9.8 以上	9.8 以上


警告







●ハードロックIIは消防法の危険物に相当しますので作業場は火気厳禁としてください。
 ●一度に多量の接着剤を硬化させると激しい発熱が生じますので注意してください。
 ●皮膚や衣服に付着するとかぶれる恐れがありますので早めに石鹸で洗ってください。万一かぶれた場合は医師の手当てを受けてください。
 ●作業場所は換気を良くし、保護眼鏡、保護手袋、必要に応じて有機ガス用マスク等の保護具を着用してください。
 ●目に入れたり、飲んだり絶対にしないでください。誤って目に入った場合、15分以上流水で洗浄し、医師の手当てを受けてください。また、誤飲した場合、吐かせて医師の手当てを受けてください。
 ●湿気や金属との接触を避け、密栓の上冷暗所に保存してください。
 ●廃棄する場合は、A/B剤を少量ずつ混合し硬化させてから捨ててください。また混合し、硬化した(硬化中)の樹脂は廃棄するまで水の中に浸漬させてください。
 ●接着剤が付着した可燃物(ウェス、段ボール、養生シート等)、注入用器具も廃棄するまで水に浸漬させて下さい。
 ●本製品の硬化物をディスクサンダー等で研磨した場合、研磨した粉末を集めたまま放置すると自然発火するおそれがあります。積もった研磨粉は、掃除機は使用せずに、ほうき等で集めた上、廃棄するまで十分な水に浸けておき、早めに専門の廃棄物処理業者に処理を委託して下さい。

自然発火の注意

- ディスクサンダー等による研磨粉は掃除機は使用せずほうき等で集めて十分な水に漬けて廃棄してください。
- 樹脂の付着したウェス、ダンボール、ローラー、刷毛等は十分な水に浸漬させて廃棄して下さい。
- 硬化時に発熱を伴います。

◇データ等記載内容についてのご注意◇

- 本書記載のデータ等記載内容は、代表的な実験値や調査に基づくもので、その記載内容についていかなる保障をなすものではありません。
- ご使用に際しては、必ず貴社にて事前に試験を行い、使用目的に適合するかどうかおよび安全性について貴社の責任においてご確認ください。
- 本書記載の当社製品およびこれらを使用した製品を廃棄する場合は、法令に従って廃棄してください。
- ご使用になる前に、詳しい使用方法や注意事項等を技術資料・安全データシートで確認してください。これらの資料は、弊社の営業担当部門で用意しておりますので、お申し付けください。
- 本書の記載内容は、新しい知見により断りなく変更する場合がありますので、ご了承ください。

Denka

デンカ株式会社 インフラ・ソーシャルソリューション部門 特殊混和材部

〒103-8338 東京都中央区日本橋室町2-1-1

電話 03-5290-5363 FAX 03-5280-5085